

TRAFFIC SCOPE

「TRAFFIC SCOPE」は交通参加者の行動観察を通じて、ドライバーやライダー、自転車利用者、歩行者に守るべきルールがあることを再認識してもらうための連載記事です。

交通参加者の行動を観察する

「止まれ」の標識がある場所では停止線の手前で必ず一時停止を！

DATA 基礎情報

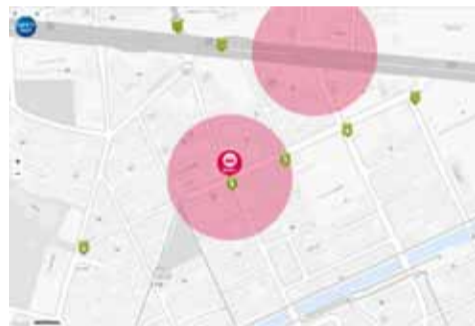
出会い頭事故の約3分の2は
信号機のない交差点で発生している

2019年の車両相互の交通事故は32万5,313件発生している。このうち出会い頭衝突は9万6,104件(29.5%)と追突に次いで多く、その3分の2近くは信号機のない交差点で発生している。「止まれ」の標識がある交差点を通過する際は、停止線の手前で止まった上で、ゆっくり少しずつ交差点に進入し、自車の存在(車体前部)を交差道路を通行するクルマなどに知らせな

がら、左右を目視できる位置まで進み安全確認をする必要がある。

今回は、Hondaが公開しているSAFETY MAP※上で事故多発エリアと表示されている信号のない交差点の中から、「止まれ」の標識がある見通しの悪い交差点2か所を東京都内から選び、車両(クルマ、バイク、自転車)の一時停止状況を観察した。

※日本中を走るHonda インターナビ(双方向通信型のカーナビ)搭載車から通信で送られてくるデータをもとにした急ブレーキ多発地点情報をはじめ、事故多発エリア情報やゾーン30情報などを表示。パソコンやスマートフォンで自由に閲覧でき、閲覧者が交通安全上危険だと感じた場所に投稿することも可能。詳細は以下のホームページを参照。
<https://safetymap.jp/>



SAFETY MAP上の観察場所A(左)とB(右)の表示(2020年12月4日時点)

WATCHING 観察

停止線の手前で止まる車両は少数
自転車は1台もいなかった

観察場所Aは東京都練馬区大泉町にある信号機のない交差点。幹線道路への抜け道として使われている一方、夕方は自転車も頻繁に往来する交差点だ。1時間の観察中に、「止まれ」の標識がある場所を通過した車両は190台で、9割近くの167台は停止線の手前で一時停止をしなかった。このうち停止線を越え、交差する道路が見通せる位置で一時停止したのは86台。残りの81台は一度も完全に停止することなく、徐行しながら交差点を通過していった。常に停止線の先にクルマが止まっていたため、交差する道路から路地にクルマがなかなか右折できない場面が散見された。停止線の手前で止まった車両は23台だが、その多

くは前車の停止に伴うもので、意識して止まっている車両は少ないように思われた。

観察場所Bは東京都西多摩郡瑞穂町にある信号機のない交差点。幹線道路から一本奥に入った通りにある。1時間の観察中に、「止まれ」の標識がある場所を通過した車両は112台で、一時停止線の手前で停止したのは5台にとどまった。このうち1台は中年男性が運転するバイクで停止線の手前で止まってから、ゆっくりと左右が見通せる位置に進んでから再度停止して安全確認を行っていた。

なお、観察場所A、Bともに停止線の手前で止まった自転車は1台も見られなかった。また、自転車は交差する道路が見通せる位置でも一時停止しない割合がクルマ、バイクに比べ高かった。中にはスピードを落とさずに交差点に進入する自転車もあり、危険に感じられた。

ADVICE アドバイス

出会い頭事故を防ぐために
一時停止して安全確認を

信号機のない交差点における一時停止状況を2カ所で観察したが、どちらも約半数の車両が停止線はおろか停止線を越えた先でも止まることはなかった。このような車両の存在が、事故多発地点となっている一因かもしれない。

「止まれ」の標識がある場所では、まず停止線の手前で一時停止。そして、交差する道路を通行する車両や歩行者の存在を確認できる位置までゆっくり前進し、さらに停止して左右の安全を確認してほしい。

また、自転車の場合は走りながら交差点の中を確認しようとする姿が多く見られた。日常的に通行している道路であれば、時間帯ごとの道路状況を理解しているため、つい確認を怠りがちだ。しかし、自転車も車両なので、「止まれ」の標識がある場所ではクルマやバイクと同じように停止線の手前で止まらなければならない。特に、ドライバーやライダーが自転車を利用する時は率先して実践し、周囲に模範を示す必要がある。

ドライバー、ライダー、自転車利用者が一時停止の重要性を再認識することで、信号機のない交差点での出会い頭事故を防ぐことができるのではないだろうか。

観察結果

観察場所 A

東京都練馬区大泉町
観察日/12月4日(金)
観察時間/16:00~17:00
天候/晴れ



停止線の手前で一時停止せず、交差する道路が見通せる位置で止まるクルマ



「止まれ」の標識があるが、スピードを落とさず交差点に進入する自転車
自転車がいてもかわらぬ止まらないクルマ

●車両の一時停止状況(台)		クルマ		バイク		自転車		合計
停止線の手前で一時停止した	停止線を越えてからも一時停止した	13	23	0	0	0	0	23 (12.1%)
	停止線を越えてからは一時停止しなかった	10		0		0		
停止線の手前で一時停止しなかった	停止線を越えてから一時停止した	59	94	7	13	20	60	167 (87.9%)
	停止線を越えてからも一時停止しなかった	35		6		40		

観察場所 B

東京都西多摩郡瑞穂町
観察日/12月4日(金)
観察時間/13:00~14:00
天候/晴れ



停止線を越えて止まるクルマが多かった



走りながら左右の状況を確認する自転車

停止線の手前で一時停止を行うバイク

●車両の一時停止状況(台)		クルマ		バイク		自転車		合計
停止線の手前で一時停止した	停止線を越えてからも一時停止した	2	4	1	1	0	0	5 (4.5%)
	停止線を越えてからは一時停止しなかった	2		0		0		
停止線の手前で一時停止しなかった	停止線を越えてから一時停止した	16	34	4	7	29	66	107 (95.5%)
	停止線を越えてからも一時停止しなかった	18		3		37		